

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

		整理番号	964
事業名	まとい会補助金	予算科目	会計 一般会計・1 款 消防費・9款 項 消防費・1項 目 非常備消防費・2目
担当部課名	総務部 防災課		
電話	0799 - 43 - 5006		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	消防組織法第6条・7条
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_【安全】	
	施策目標	住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意識を高め、自ら身を守る力を育てる	

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 市民の生命、身体及び財産の安全。			
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 現在の消防団へ支援、提言を行うまとい会組織に補助することにより、消防団が充実強化され、それにより市民の生命、身体が護られる。			
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)			
		緑町消防団、西淡町消防団、三原町消防団、南淡町消防団の元団長及び南あわじ市消防団の元団長、元選任副団長、元各方面隊長	構成員人数(人)	38	
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (総務部防災課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
	補助金算出根拠	合併前から郡単位でまとい会が組織され、その運営費が予算化されてきており、同様にその方法を引き継ぎ、平成22年度から経費の見直しを行い減額している。			
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧郡まとい会組織を引き継いで予算化した。				

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	300	300	300	200	200
	まとい会活動補助金	300	300	300	200	200
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	300	300	300	200	200
	人件費(正規職員)[B] (千円)	361	335	338	329	0
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4
	事業量1(事業に要した日数)	12	12	12	12	
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	
	年間経費([A]+[B])	661	635	638	529	200
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成22年度より補助金を100千円減額し、200千円としている。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 消防団の充実強化に下支えとして有効である。 充実強化する消防団の規模等を考慮し、評価を行った。				自己評価 (5点評価)
					3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域防災力の中心的役割を担う消防団の運営を継続・発展するには、OBからの視点からの助言なども、現在の幹部に対し必要な場合もあり、市まとい会の育成も必要である。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 消防団活動の支援のため、まとい会組織として経費削減を行いつつ、活動の支援策を検討している。				評価グラフ

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>会の経費削減を行いつつ、消防団活動を支援する。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)		
(現状維持の場合も記入) 廃止の影響	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>まとい会組織の維持が困難となり、消防団との交流事業も実施されなくなり、消防団の活動や活性化にマイナスとなる。</p>	